

農業後継者育成基金事業

令和3年度農業後継者特別支援事業

事業主体名 川薩地区農業青年クラブ

1 目的

少子・高齢化や担い手不足等により労働力確保が年々難しくなっており、雇用環境の整備、作業の効率化、経営の合理化を図ることが急務である。

今回、アシストスーツ導入による作業負荷軽減や作業時間短縮等の効果を検証するとともに、軽労化による高齢者や女性の就労を促進する。また、川薩地域においてスマート農業の導入を加速化させる。

2 実施状況(主要なものを選定して記載してください)

(1)アシストスーツ導入による効果検証

【活動内容】

2種類のアシストスーツを使用して、青年クラブ員が行っている各分野(野菜, 畜産, 水稻等)において農作業を実施した。また、効率的な使用方法を製造メーカーと一緒に検討した。

【効果】

アシストスーツの導入による効果検証を行ったところ、アシストスーツを着用して作業することで軽労化が図られ、作業者への負担が大幅に改善されることがわかった。作業時間は、短時間では作業時間が短縮されることはなかったが、長時間着用した場合は、軽労化により作業時間p短縮に繋ることがわかった。



(2)アシストスーツ実績報告会の開催

【活動内容】

指導農業士会や関係機関が集まる会(川薩地区農業青年会議)においてアシストスーツの検証結果を報告した。

【効果】

アシストスーツの実演や検証結果の報告を通じてアシストスーツに対する理解が深まり、省力化技術を導入するきっかけができた。また、幅広い年代の農家から良い取組と評価された。



3 今後の課題、取り組み

【今後の課題】

アシストスーツ以外の省力化技術に取り組み青年農業者の経営発展につなげていく必要がある

【今後の取り組み】

地域の担い手としての意識を高め、地域と連携しながら経営発展に努めていく。